

令和5年度事業所全体評価 課題と工夫について

令和5年度自己評価結果を受けて、職員会議で事業所全体評価を行いました。各項目ごとに課題と工夫についてまとめ職員間で共有し、今後の支援をより良いものにしていきたいと思っております。(保護者向けアンケートより 各項目の「はい」の総合回答率)

1. 環境・体制設備 (総合 97%👍) 昨年度 96%

- ・生活環境・生活空間の構造化について高い評価を頂けている事に関しては、今年度特に視覚支援や動線について工夫を重ねた支援内容を保護者が理解して下さった結果だと思う。職員の配置数については少ないと感じた保護者がゼロとなるよう、親子に丁寧に声をかけて「今日も来てよかった」と感じていただけるよう支援をしていきたい。
- ・職員の専門性については昨年度より評価が上がったが、支援の中で保護者に実感していただけた結果と感じている。

2. 適切な支援の提供 (総合 92%👍) 昨年度 92%

- ・個別支援計画書の作成と支援に関する項目に関しては、引き続き評価していただけるよう努力が必要。ご意見の中に、「個別支援計画書に保護者やこどもの思いが盛り込まれている」「こどもも同席で目標について説明する」など頂けてよかった。さらに個別支援計画を親子が「見てわかる・もらってうれしい個別支援計画書」となるように改善していきたい。そして「児童発達支援ガイドライン」に沿って作成していることを契約時や更新時に丁寧に説明することが必要と感じた。
- ・活動プログラムについては、今後もプログラムの目的についても保護者に説明をしながら喜んでいただけるものを用意していきたい。

3. 保護者への説明等 (総合 90%👍) 昨年度 88%

- ・「定期的に保護者に対して面談や育児の関する助言等の支援が行われているか」で高い評価を頂いた。他項目で「特別に困った時でない(面談)予約できない～」というご意見もあり、気軽に困り感が話せるようなしくみを考えていきたい。
- ・情報発信については、親子支援の強みを生かし、毎回顔を合わせた形でお伝えしながら共有していきたい事をご理解頂く事が必要。親子で通っていただく中で、生の声でのやりとりを大切にしながら、活動概要や目的、お子さんの様子を伝える事を引き続き丁寧に続けていく。
- ・個人情報の取り扱いを十分に配慮されているかという点で、さらに職員間で問題点を検証しご意見も聞きながら安心してご利用いただけるように改善をしていきたい。

4. 非常等の対応 (総合 68%👍) 昨年度 80%

能登沖地震後で保護者の不安も大きく、年2回実施している避難訓練や災害時の対応について早急に保護者に説明ができるようにしたい。

5. 満足度 (総合 96%👍) 昨年度 94%

多くの保護者の方から満足いただけている事に感謝し、まだ実感できていない保護者の方と共にお子さんの成長を喜び合えるように、さらに親子のニーズに細かく対応していくことが重要と感じた。